

予算審査特別委員会

第92号議案・平成28年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第96号議案・平成28年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)の計5議案について、定例会2日目(12月7日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・佐藤聡一、副委員長・松野久郎)は、12月8日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成28年度白石市一般会計補正予算(第6号)

民生費

〔質疑〕介護ロボットの導入について、その詳細を伺う。

〔答弁〕9月時点では3事業者であった。今回、国からの追加の内示を受け、1事業者で複数の事業所(グループホーム)が認められ、歩行アシストカートを導入するものである。

この歩行アシストカートは、内蔵するセンサーにより、流れの防止や、坂道で安全に歩行できるカートである。

〔質疑〕平成29年4月から南保育園で実施する一時預かり事業について、何人預かることを想定しているのか伺う。

〔答弁〕一時預かり事業は、1日平均6人を目標としており、保育室の面積要件等も考慮し、現時点では1日8人を最大の定員として行う予定である。

災害復旧費

〔質疑〕市道金成線は、配水管が詰まり、水があふれて道路が流出した。今後の災害が起きないための対策はどのようになるのか伺う。

〔答弁〕市道金成線は、今まで直径1メートルのコレクターパイプ管が埋設されていた。今回の災害査定において、流域面積等を計算し、縦横1.5メートルのボックスカルバートを埋設する。

排水の断面積が約3倍に増えるため、被災原因の除去は可能と考える。

〔質疑〕災害復旧に係る公有財産購入費の詳細を伺う。

〔答弁〕垂清川の河川災害に伴う土地購入費である。今回、宅地が被災を受け、流水域がかなり移動した。災害復旧する場所は、被災者の所有敷地内で、面積は約1千500平方メートルとなり、護岸ブロックを設置する予定である。

〔質疑〕市道三住線大岩橋の復旧工事について、工事内容と完成時期を伺う。

〔答弁〕大岩橋の被災原因は、橋梁部分が流木によってふさがれ、水が河川の右岸側に集中したため、橋が流出・落橋したものである。

現在の大岩橋は、4橋脚の5径間であった。今回、最新の設計基準に基づき、全橋架け替えし、1径間で橋脚がない構造となる。



架け替えとなる被災した市道三住線の大岩橋

工期については、早急な工事請負を発注したいと考えているが、下部工あるいは上部工の工事となるので、長い工事期間が必要である。

事業が繰り越したる場合は、改めて手続きを取ることになると考える。

企業会計

◎平成28年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)

〔質疑〕湯元簡易水道の給水区域拡張について、その詳細を伺う。

〔答弁〕湯元簡易水道で新たに給水可能となる区域は、明戸地区と小日向地区である。

加入金の状況については、各世帯が給水工事を行う際の手数料・加入金を見込んでおり、現時点で両地区から23戸の申請を受け付けている。